

委員からの主な意見とそれに対応する本市の取組

	主な意見	意見に関する本市の取組
【テーマ①】 「将来に対し希望を持っている」と自信をもって思うためには何が必要か	○憧れとなる大人との出会いの場が必要 ○SNS時代だからこそ、リアルな交流機会が必要	○教育CSR推進事業 （企業による学びの応援プログラム） ○こども食堂へのアーティスト派遣 ○さかい学生＆若者応援DAY 等
【テーマ②】 日常生活を円滑に送れていると思うためには何が必要か	○障害に対する理解を深めてもらうことが大事 ○当事者でない方や理解が乏しい方への周知が必要	○職員向けの障害理解や手話研修の実施 ○小学校での障害理解体験、車いすバスケットボール体験などの実施 等

委員からの主な意見とそれに対応する本市の取組

	主な意見	意見に関する本市の取組
【テーマ②】 日常生活を円滑に送れていると思うためには何が必要か	○放課後等におけるこどもの健全な環境整備の充実	○放課後児童対策事業 ○放課後子ども総合プラン事業 ○放課後ルーム事業
【テーマ③】 堺市は子育てしやすい都市だと思うか。また、その理由や課題点について	○保育人材への支援が大事 ○園の先生は雑務が多く大変ではないか	○国基準を上回る職員配置のための運営経費を補助 ○保育士に対する就職準備金に要する費用を補助 ○保育人材情報ポータルサイトの運営 等

テーマ① 「将来に対し希望を持っている」と自信をもって思うためには何が必要か

こども・若者の交流の機会創出

さかい学生 & 若者応援DAY

市内在住・在学の学生や若者を対象に、寄附食品等の提供を契機とし、行政や支援機関とつながる機会としている。情報提供・相談支援を通じ、様々な職種の職員との交流の場を提供。

▶参加者の学生や若者からの意見も参考に、参加者同士の交流が深まるよう工夫を進める

テーマ② 日常生活を円滑に送れていると思うためには何が必要か

障害の理解啓発

▶東京2025 デフリンピック応援イベントinさかいを開催

▶令和7年度から、堺市障害者スポーツ・レクリエーション大会に市内高等学校の生徒がボランティアとして参加

▶令和8年度から、市民向け手話講座の申込制を取り止め、自由参加とする

テーマ② 日常生活を円滑に送れていると思うためには何が必要か

放課後等における児童の健全育成と子育て支援で、より利用しやすい環境整備

- ▶ 令和10年度から現行3事業の制度を「のびのびルーム」を基とした新たな制度に統一予定
- ▶ 「のびのびルーム」の保護者一部負担金額を月額2,000円減額
- ▶ おやつ提供の希望制（原則提供、希望しない場合は申出）を開始

テーマ③ 堺市は子育てしやすい都市だと思うか。また、その理由や課題点について

保育人材不足の解消や職場環境の整備を図る

- ▶ 集団保育を行う上で、配慮が必要なこどもへの対応等に要する費用の補助を拡充
- ▶ 令和8～10年度に採用された1・2年目の 新卒保育士等の常勤職員に本市独自の応援金を支給